

8	読む	適切な表現をする(敬語)	[知識・技能]	名前
---	----	--------------	---------	----

敬語とは、話し手(書き手)が、聞き手(読み手)や話題にする人に対して、敬意を表す表現で、大別すると、尊敬語、謙譲語、丁寧語の三つがあります。これを身に付けると、相手や場面に応じた適切な表現ができるようになります。

やってみよう

一次の(1)～(3)の各文の( )に当てはまる敬語として適切なものを、それぞれあとのア～ウの中から一つ選び、記号で書きなさい。

(1) 先生の( ) (言葉に感動した。  
 ア 申し上げた      イ おっしゃった      ウ 言った

(2) 明日、こちらから先生のお宅へ( ) (つもりです。  
 ア 行く      イ 伺う      ウ いらっしゃる

二次のア～エの各文の中で、敬語の使い方が正しいもの一つを選んで、記号で書きなさい。  
 (3) このユニホームは、先輩方が卒業されるときに、私たちに( ) ものです。  
 ア くださった      イ くれた      ウ 差上げた

ア お客様は、ごちそうをおいしそうにいただきました。  
 イ 私の父がこちらへいらっしゃいます。  
 ウ 先生のお召しになっている着物は、とても美しいです。  
 エ お母さんが先生に申し上げました。

三次の各文の——線部の敬語は、ア 尊敬語、イ 謙譲語、ウ 丁寧語のどれに当たりますか。それぞれ記号で書きなさい。

- (1) どうぞ、たくさん召し上がってくださいね。      [      ]
- (2) では、いただきます。      [      ]
- (3) 先生が教室にいらっしゃいました。      [      ]
- (4) 私は犬が大好きです。      [      ]
- (5) 明日、直接わたしが伺います。      [      ]
- (6) 助けていただきて、ありがとうございます。      [      ]
- (7) あなたのおっしゃるとおりですね。      [      ]